



CondeHouse Style 2023 開催

新作ソファ「イコロ」、コントラクト向け新作「NAKKA」発表発売

北海道・旭川を拠点に家具の製造販売を行う株式会社カンディハウス（本社所在地：北海道旭川市 代表取締役社長：染谷哲義）は、家具産地旭川で6月21日〔水〕よりスタートするデザインイベント「Meet up Furniture Asahikawa」に合わせて「CondeHouse Style 2023」を開催いたします。

新作として、社内開発による新リビングシリーズ「イコロ」を発表・発売。掛け心地を追求し、3種類の高さとカバーリング機能をもつシステムソファにご注目ください。さらに、ダイナミックなフォルムと豊かな木質感が人気の「ATILLA LUX」ソファがシステムソファとして生まれ変わりました。新アイテムの追加でグレード感が高まり、くつろぎの幅が広がります。また、コントラクト市場に向け藤森泰司アトリエとともに開発した新作「NAKKA」や、「セレクトファニチャー A+」の追加プランなど、充実した空間づくりのアイテムを発表いたします。

リフレッシュしたショップでは、新作ソファを加えたりビングアイテムにスポットをあて、くつろぎのシーンを表現。また、需要が高まるワークスタイルエリアは、オフィスシーンを中心にご提案いたします。人気シリーズ「WING LUX」の一部アイテムに樹種追加や、縦継ぎの大型無垢テーブルなど新仕様の製品を通じ、当社が大切にする「自然と調和したものづくり」についてもお伝えいたします。



CondeHouse Style 2023 概要

日程：2023年6月21日〔水〕～25日〔日〕 9:00-18:00

場所：カンディハウス 本社（北海道旭川市永山北2条6丁目）

※ファクトリーツアー、ショップ見学は事前予約制となります。以下特設サイトをご覧ください。

<https://www.condehouse.co.jp/chs2023/>

くつろぎは、「宝物」(アイヌ語でIKOR)。
 多様な空間にフィットして、集う人に理想の居心地を。

イコロリビング New Series



「意外にゆったりしている」というのが、初めて座った方々の感想です。「イコロ[IKOR]」は都心部のマンションなどを想定し、限られた空間を最大限に生かすシステムソファというコンセプトから生まれました。L字の組み合わせ時に、ワイド 2000mm 以下を実現するサイズ展開が最大の特長です。窮屈にならないよう、背と肘を薄いパネル状にして座の広さを確保し、座面もふっくらと仕上げました。「掛け心地はコンパクトにしない」という開発時の目標を達成した自信作を、カンディハウスならではのグレードでお届けします。

ラインアップ 6月21日発売

SB ワンアーム 185/170/155 L(R) 本体 + 背・肘	¥476,300~¥891,000(税込)
ロングシート 140/125 L(R) 本体 + 背・肘	¥398,200~¥689,700(税込)
SB アームレス 180/165/150 L(R) 本体 + 背	¥399,300~¥744,700(税込)
FB アームレス 150/135/120 本体 + 背	¥349,800~¥677,600(税込)
サイドテーブル 27×77	¥85,800(税込)
クッション(大)(小)	¥13,200~¥63,800(税込)

※カバーリング対応(革張りは非対応)

※ソファとサイドテーブルの高さは 3 種類 (L/M/H) あります。ソファの座高はそれぞれ 360mm/400mm/430mm となります。

【樹種・塗装】北海道タモ NF/WNF/MBR/DBR/GY/DGY/BL ※7 色展開



サイドテーブル



カバーリング対応

人気の2シリーズに追加アイテムが登場。 より充実した空間づくりを。

ATILLA LUX リビング

New Items

Atilla Kuzu / アティラ・クズ



直線的でダイナミックなフォルムと、背の一部を引き出してアームやピローとして使えるユニークさが魅力のソファ、「アティラ ラックス」。“直線美と機能の融合”をテーマにトルコ・イスタンブール在住のデザイナー、アティラ・クズ氏と開発した、10年以上に渡って人気の高いシリーズです。その魅力をより幅広い用途と場面で楽しんでいただけるよう、新たに4つのソファアイテムをご用意しました。既存のソファにワンアームやオットマンを組み合わせることで、L字型やロングシートなど、空間に合わせたさまざまなつくり方が生まれます。背座クッションの美しい張り込みとそれを支える重厚な木部は、ホームユースはもちろん、オフィスやホール、商業施設などどんな場面でもその空間を引き立ててくれます。



アティラ・クズ氏(トルコ)

ラインアップ

6月21日発売

FB ワンアーム 120/105 L(R)	巾1220/1070 奥920 高720 座高400 肘高515	¥345,400～¥679,800(税込)
SB ワンアーム 160 L(R)	巾1605 奥920 高720 座高400 肘高515	¥418,000～¥759,000(税込)
ソファベンチ 120/105 L(R)	巾1220/1070 奥920 高400	¥242,000～¥451,000(税込)
オットマン 75	巾770 奥920 高400	¥179,300～¥327,800(税込)

【樹種・塗装】北海道タモ NF/WNF/MBR/DBR/GY/DGY/BL ウォルナットCW/DBR

セレクトファニチャー A+

New Items



セレクトファニチャー A+ に新しいセレクトプランが加わりました。細い金属脚による浮遊感が魅力の TV ボードとサイドボードは、専用デザインで、それぞれワイド3サイズをご用意。

ラインアップ

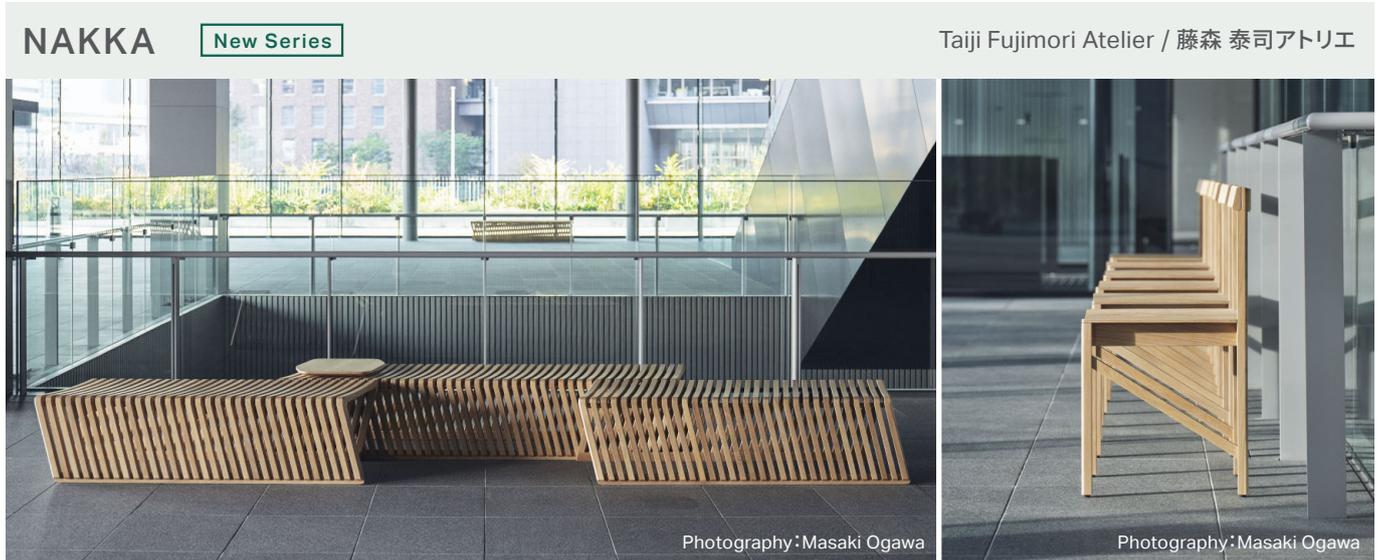
6月21日発売

TVボード	巾2000/1800/1500 奥450 高405	¥484,000～¥691,900(税込)
サイドボード	巾2000/1800/1500 奥450 高765	¥506,000～¥842,600(税込)

【樹種・塗装】

北海道タモ NF/WNF/MBR/DBR/GY/DGY/BL
ウォルナットCW/DBR

大阪中之島美術館のためにデザインされたシリーズを、 コントラクト市場へ向けた新作としてこのたび製品化。



2022年2月にオープンし話題を呼んだ「大阪中之島美術館」。来館者を迎える共有空間向けに藤森泰司氏がデザインし、カンディハウスが製作を担当したベンチやチェア等を、このたびコントラクト市場へ向けた新シリーズ「NAKKA[ナッカ]」として発表発売いたします。

美術館の家具をデザインするにあたり藤森氏が直感的に思い浮かんだのは、「天然の木材を使う」ということ。経年変化の魅力により、歴史を積み重ねていく建物とともに生き続けることができる家具をイメージしました。アート体験を豊かにするための家具としてポイントとなるのは、見た目の美しさはもちろん、誰にとっても使いやすく、快適で安全であること。また、メンテナンスのしやすさや耐久性も考慮されているため、美術館に限らず公共施設やラウンジなど人々が集う場面で活躍します。

ラインアップ 7月1日発売

ベンチ 213 / 157 / 73	巾2130/1565/725 奥500 高410	¥385,000～¥1,078,000 (税込)
ベンチ用トレイテーブル	巾455 奥435 高85	¥74,800 (税込)
ソファベンチ 231	巾2310 奥1135 高395	¥850,300～¥977,900 (税込)
チェア(木座)	巾375 奥425 高770(790) 座高430(450) 重4.5kg	¥91,300 (税込)
アームレスイージーチェア	巾660 奥585 高730 座高390	¥214,500～¥244,200 (税込)
ワンアームイージーチェア L(R)	巾690 奥615 高730 肘高540 座高390	¥231,000～¥260,700 (税込)
サイドテーブル 57×56	巾575 奥565 高375	¥201,300 (税込)

※チェアのみHタイプあり ※()の数値はHタイプのサイズです。 ※最低発注数を設定しています。

【樹種・塗装】北海道タモ NF/WNF/MBR/DBR/GY/DGY/BL ※7色展開



藤森 泰司氏 / Taiji Fujimori (日本)

1991年東京造形大学デザイン学科卒業後、家具デザイナー大橋晃朗に師事。1992年より長谷川逸子・建築計画工房に勤務。1999年に「藤森泰司アトリエ」設立。家具デザインを中心に据え、伊東豊雄、山本理頭などの多くの建築家とのコラボレーション、プロダクト・空間デザインを手掛ける。近年は図書館などの公共施設への特注家具をはじめ、ハイブランドの製品から、オフィス、小中学校の学童家具まで幅広く活動。スケールや領域を超えた家具デザインの新しい在り方を目指して実践を続けている。グッドデザイン特別賞など受賞多数。桑沢デザイン研究所、多摩美術大学、東京大学、東京藝術大学非常勤講師。著書「家具デザイナー 藤森泰司の仕事」(彰国社 / 2019)。

「自然と調和したものづくり」に向けた取り組み

●人気シリーズ「WING LUX」のLDモデルに北海道産の新樹種追加



デザイナーの佐戸川清氏が自然の美しさからデザインを生み出した WING LUX [ウイング ラックス] は、豊かな木質感と繊細なラインが織り成す上質さで多くの人から選ばれる、カンディハウスを代表するシリーズです。このたび LD モデルの樹種に、ナチュラルな風合いと木目が魅力の北海道産タモ材が加わりました。

●短いが質の良い材料を縦に繋いで使う、縦継ぎ仕様をテーブルの無垢天板へ導入



国内外で木材需要が高まる現在、十分な長さを持つ材料の確保は厳しさが増しています。また、木を家具材として使うためには、丸太の状態をスライスし乾燥する工程が欠かせませんが、乾燥の途中で割れなどが断面(木口)から生じることがあります。割れてしまった分短くなり、厚みや木目などの点においては質が良く無垢天板の材料に適していても、テーブル天板などに長さが足りないため使用できない木材があります。そこでカンディハウスでは、短い材料を縦方向に繋ぐ「縦継ぎ」を行うことで需要の高い長い無垢天板の製作を可能とし、限りある自然資源を有効に活用する取り組みを始めます。

●COSONCO QS ギャラリーがカンディハウス旭川ショップ内にオープン



COSONCO QS

【COSONCO QS(コソコクス)】は北海道、旭川市で木製家具の製造販売を行う株式会社カンディハウスと、北海道、砂川市で馬具、皮革製品の製造販売を行うソメスサドル株式会社により設立されたブランドです。デザイナーに倉本仁氏、アートディレクターに谷内晴彦氏を迎え、両社の製造過程で生じる端材を積極的に取り入れ、玩具でも置物でもない、日常の傍で、そっと豊かな気持ちにさせてくれるアートオブジェを生み出しています。COSONCO QS は、端材の組み合わせから生まれるため、この世に2つと同じものは存在しません。革の色も木の表情も、その時々での製造のタイミングと状況で変わっていきます。そんな世界でたったひとつのアートオブジェに出会えるような巡り合わせをご体験いただける場が、「COSONCO QS ギャラリー」です。カンディハウス旭川ショップにて、ぜひご覧ください。

【プレスキット】 当リリースで使用した画像は以下URLよりダウンロードすることができます。ぜひご活用ください。

http://www.condehouse.co.jp/contents/press/202306_chs2023/

当プレスリリースに関するお問い合わせ先

(株)カンディハウス デザイン企画本部 中田・尾田 Tel 0166-47-9967 Fax 0166-49-2225 E-mail kikaku@condehouse.co.jp